



多くの3年生が部活動から引退し、1・2年生を主体としたチームづくりが始まっています。新チームでの対外試合を終え、来年の高校総体や国体に向けての課題が見えてきたことと思います。

学習の成果を部活で活かす！

私が子どもの頃には「巨人の星」や「サインはV!」といったスポ根アニメ、スポ根ドラマが人気でした。これらの番組からもわかるように、過去の部活動やスポーツチームでは根性論を中心とした指導が多く見られました。

当時の練習では、ウサギ跳びや水分補給の否定など現在の科学的な練習からは驚くようなことが当たり前のこととして世の中で認められていました。そして上手いかないと、「気持ちが入っていない」とか「根性が足りない」などと言われていました。

現代のスポーツチームではトレーニング理論が進化し、スポーツ生理学やスポーツ心理学などを重視して練習計画を立てるようになり、科学的な練習メニューで成果を上げるようになりました。

では、これまでの「精神力」や「根性」は本当に間違いだったのでしょうか。技術・技能を高める上では科学的な練習は大変効果的だと思います。しかし、勝負にかける意欲や練習に取り組む心の有り様を高めていくには「精神力」は大切な要素だと思います。

試合で苦しい場面に遭遇したとき、あきらめずに一歩を踏み出せるかどうかには「精神力」の差が大きく影響していると思います。これを鍛えるために、日頃の学習への取組を活用することができると思います。例えば数学の問題を解くとき、ひとつひとつの計算は単純なものですが、そのひとつひとつの計算に注意を払いながら間違えずに完成するまでコツコツと継続することは「精神力」の育成そのものでもあると思います。一カ所の計算を間違えても正答しません。計算のステップが長いと面倒になり投げ出したくなります。このことは、専門教科の学習においてもプログラムの作成や材料の加工、模型づくりなど、あらゆる場面で同じことがいえます。

学習の成果を部活動に活かすのか、逆に部活動の成果を学習に活かすのか、どちらもあります。変化が早く予測のつきにくいこれからの時代に求められるチャレンジ精神とやり抜く力を学習と部活動の両面から身につけてください。

秋は学習面でも取り組みやすい季節です。小さなことの積み重ねを大切に、大きな成果を獲得してください。

校長 松川 明義



【行事予定】 10月11日(火)～14日(金)：2学期中間考査

14日(金)：リスニング英検

16日(日)：危険物取扱者試験

今週末の大会等：テニス新人戦（東山）、柔道新人戦（倉吉）、サッカー選手権（米子）



米工 HP